

成田市教育委員会会議事録

平成30年3月成田市教育委員会会議定例会

期 日 平成30年3月23日 開会：午後2時 閉会：午後3時14分

会 場 成田市役所503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	佐 藤 勲

出席職員

教育部長	宮 崎 由紀男
教育部参事	神 山 金 男
教育総務課長	鬼 澤 正 春
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	高 梨 哲 生
教育指導課長	高 安 輝 司
生涯学習課長	田 中 美 季
学校給食センター所長	山 田 昌 弘
公民館長	神 崎 良 浩
図書館長兼視聴覚サービスセンター所長	池 田 桂 士
教育総務課長補佐 (書記)	篠 塚 康 孝

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言

2. 署名委員の指名 小川新太郎委員、佐藤勲委員

3. 前回議事録の承認

4. 教育長報告

主催事業等

○3月7日～9日 校長目標申告について

市内全小中義務教育学校の校長先生方と面談し、今年度、各校で実践した教育の最終申告を伺いました。どの学校も学力向上を第一に掲げ、それぞれ創意工夫した実践を行っており、成果の出ている学校もあれば、なかなか厳しい状況の学校もありました。また、教職員の多忙化解消の問題についても、それぞれ努力はしているものの依然として難しい課題であるという認識でした。特に、中学校では部活動の在り方について、私たち教育委員会からの提言を行う前に、既に自主的に休日の1日を含む週2回の休部日を設定している学校もありましたが、部活動に熱心な教員の思いを優先してしまい、なかなか活動休止日を設けられない学校もありました。来年度からは、市内全校が足並みをそろえられるように努めなければならないと考えており、そのためには保護者や地域の方々の理解が不可欠だと思っておりますので、少しでも学校の支援ができるよう努めてまいりたいと思います。

○3月10日 成田市生涯大学院卒業式・修了式について

今年度、生涯大学院を卒業された方は、第38期生の58名の皆さんでした。このうち、3か年皆勤された方は4名いらっしゃいました。本当に素晴らしいことだと思います。また、第39期生で13名、第40期生で11名の方々がそれぞれ1か年の皆勤ということでした。1年間はあっという間に過ぎてしまいますが、3年続けるということはなかなか難しいことだと思います。ご高齢の方々が多いわけですし、ご自身の健康はもちろん、ご家族も健康でなければ1日も休まず出席することなど到底できるものではありません。本当に素晴らしいことです。そして、来年度も、是非、大勢の方々に生涯大学院に参加していただき、充実した日々を送っていただくと共に、仲間との交流を通じてより一層元気になっていただきたいと思います。

○3月13日・16日・20日 成田市立小中義務教育学校卒業式について

私は、大栄中学校、向台小学校、成田小学校の卒業式に参列しました。どの学校も大変素晴

らしい式典で、たくさんの感動をいただきました。特に、大栄中学校では、卒業生退場の時、卒業生から先生方に送られたあたたかい言葉。向台小学校では、目に涙をいっぱいためながら、最後までしっかり歌い切った子どもたちの姿。そして、成田小学校では、卒業生代表の答辞を何も見ずに涙ながらに読み切った子、卒業生の歌う「仰げば尊し」の出だしをアカペラできれいに歌い上げた子ども、などなど、感動の場面がいくつもありました。委員の皆様もそれぞれの学校の式典に参加されましたので、後ほどご感想をいただければと思います。

○3月15日 成田市ふれあいルーム21修了の会について

修了の会は、全委員さんをご出席されておりますので、特に報告はいたしません。いつも思うのは、一人ひとりに渡す修了証書が、一人ひとり皆違うこと。このことが、ふれあいルームの良さであると思います。本来、どの学校においても、本当は一人ひとりにこうした言葉かけが大切ではないでしょうか。ここにこそ、教育の原点があるように思います。そして、こうしたルームがあることは、成田市の誇りでもあるように感じます。

○3月20日 成田市視聴覚ライブラリー運営委員会について

本年度第2回目の視聴覚ライブラリー運営委員会が開催され、出席してまいりました。今回の議題は、本年度事業の中間報告と予算執行状況、次年度事業計画と予算見込みについて協議していただきました。なお、議案審議終了後、成田市視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例の廃止、及び成田市視聴覚ライブラリー運営規則の廃止について、本運営委員会に諮問いたしました。このことは、以前にもご報告しましたが、デジタル技術の急速な進展により、アナログ機器である16ミリフィルムは既に製造中止になり、現在はDVDとプロジェクターの組み合わせで、より鮮明な映像と音が楽しめる時代になっており、視聴覚ライブラリーがこれまで果たしてきた役割は終えたとの認識で、今回の諮問となりました。ただ、これまでこのライブラリーが実施してきた事業は、図書館事業の一つとして今後も継続していくという前提での諮問となります。次回は、新年度に入ってから協議となります。運営委員の皆様からは、今回の諮問した内容について答申をいただくと共に、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

市議会

○2月23日～3月22日 平成30年3月定例会について

新年度予算案を議会に提案するというところで、議会開会日のはじめに、市長が施政方針演説

をし、これを受けて議員各派代表の質問があるというのが3月定例会の流れです。教育委員会も各派の代表質問を受け、これに回答したところです。英語教育、学校支援地域本部事業、学校給食共同調理場整備事業等、施政方針で示された内容が中心です。また、一般質問でも、教職員の働き方改革の問題であるとか、次年度、小学校から先に始まる特別の教科道徳の評価、プログラミング教育、児童生徒の就学指定に関する問題等々、多くの議員さんから質問を頂戴しました。中には答弁が難しい内容もありましたが、各課でよく考え、対応してもらいました。

なお、本会議では、執行部の提案した議案の全てが全会一致、若しくは賛成多数で可決されました。

○3月6日 教育民生常任委員会

今回の常任委員会では、教育委員会からの提出議案や報告は珍しく一件もなく、職員も答弁の機会がありませんでした。そのためというわけでもありませんが、普段より早く常任委員会を終了しました。したがって、今回は、委員の皆様特に報告する内容はございません。

○3月12日～14日 予算特別委員会について

来年度予算案の審議を行いました。教育費関係では、多くの質問が出されましたが、ほぼ毎年、同様の質問が多いように思います。予算委員会前に各議員さんから要望があり、作成する資料があるのですが、毎回、同じような内容が多いなと感じました。回答する側としては、何故、どんな目的でこの事業を実施するのか、その費用対効果はどうか等々、基本的なことをしっかり押さえておくことが大切で、各課長がしっかり答えてくれましたが、どんな質問が出されても、数値的な内容以外は原稿を見ずに答えるぐらいの気持ちで臨むと、相手に思いが伝わるようです。これは、教育委員会だけの問題ではありませんが、聞かれたことに簡潔に回答できるようにすると、議員さんとも歯切れのいいやりとりができるようになります。予算委員会はどんな質問が飛び出すかわからないこともあり、緊張はしますが、思いはしっかり伝えたいものです。

なお、本委員会では全ての議案が可決されました。

その他

○2月24日 大栄B&G海洋センターリニューアルオープン記念式典について

B&G財団の補助を受け、受変電設備の改修工事を行った大栄B&Gの体育館で、リニューアルオープンの記念式典と中学生女子を対象にしたバレーボール教室を開催しました。このバ

レーボール教室には、講師として全日本女子バレーボールのリベロとして活躍した佐野優子さんをお招きし、中学生におよそ2時間程度の指導をしていただきました。さすがに、つい数年前まで現役リベロとして活躍していただけに、その実力は中学生にとっても憧れの存在のようで、自分たちとほぼ同じ身長か、やや低い佐野さんのアドバイスを謙虚に受け止め、一生懸命に練習していました。先日の陸上競技もそうでしたが、一流選手やコーチの指導は、子どもたちだけではなく教員にとってもとても勉強になるものです。今回の参加校は6校でしたが、大栄B&Gの存在すら知らない子がほとんどで、そういう意味でもよい機会に恵まれたと思えました。

○3月8日 一般財団法人 印旛教育会館 平成29年度第3回評議員会について

印旛教育会館の次年度の事業計画、並びに予算案の審議をしました。次年度は、特に何か新規事業があるわけではありませんが、印旛教育会館が継続して行っている事業の一つに、教職員の永年勤続顕彰があり、次年度は、勤続30年を迎える教職員が150名、翌年度は170名と増えていき、それをピークに、あとは年々減少していくとのお話でした。大量採用時代から一転、教職員の採用がほとんどなかった時代に移るわけです。学校管理職も、あと数年で同様の現象が起こります。私が新規採用された頃は、どの学校も20代、30代の教職員ばかりで、40代後半から50代の教職員はほんのわずかでした。それだけに、ベテランの先生は、どの学校でも怖い存在でした。それでも、若い職員が多いものですから学校には活気があったように思います。これからの学校も、間もなくそうした時代を迎えます。ところで、印旛教育会館は、以前ご報告しましたように、寺台の、かつて、Aコープがあった場所の南側の空き地を、教育会館の駐車場用地として買取ることになり、次年度予算に計上しました。次年度中に、支払、登記を済ませる予定です。印旛教育会館も築年数が経過し、様々な補修を行っていて、大規模改造か建て替えも視野に入れ、その資金を蓄えなければなりません。教職員にとって使いやすい施設となるよう、計画的に行っていきたいものです。

○3月9日 平成29年度第10回成田市校長会議について

今年度最後の校長会議が成田小で開催され、出席してきました。本市では、どの学校も少なからず難しい課題を抱えており、依然として予断を許さない学校経営が求められているわけですが、年度末になると、決まって生徒指導上の問題が大きくなる学校が出てきます。一人ひとりの教員の質を向上させていかなければ、こうした課題は一向になくなりません。どうしたらよい教員を育てられるか、教育委員会の課題でもあります。校長先生方も瀬戸際で頑張ってお

られますが、これからは若い管理職が増えていきます。的確な判断と、強いリーダーシップ、子どもの側に立った柔軟な指導も求められます。そういう意味で、やや強い指導をしてきたところですが、今年度末には8人の校長先生方が退職されます。学校が変わる時です。

○3月16日 2017成田POPラン大会第3回実行委員会について

今年度第3回目の実行委員会が開催され、出席してまいりました。内容は、今年度の大会事業報告並びに大会収支決算、そして次年度の大会要項案について審議しました。POPラン大会も、このところ、ほぼ5,000人近い参加者があり、ほぼ目標どおりの大会となっておりますが、毎年少しずつ改善を加え、少しでも参加者に楽しんでいただきたいという思いで実施しています。今回は、皆様もご存じのとおり、早田俊幸選手に出発前の準備運動を指導してもらったりして、良いスタートを切れましたが、大会の運営については、表彰式の在り方など、依然として課題となっています。私が思うには、表彰すべき選手が多すぎるのではないかと、そのため、事務局は次から次へと表彰しなければならず、入賞者が全員集まらないままに表彰式を行ってしまったり、一人ひとりへの大切な表彰を急いで実施してしまったり、問題があるように思います。多くの人を表彰したい気持ちはわかるのですが、そろそろ考えた方がいいかなという感想を持ちました。

○3月16日 平成29年度成田スポーツフェスティバル第2回実行委員会について

POPラン大会実行委員会に続いて、スポーツフェスティバル実行委員会に出席しました。今年度のスポーツフェスティバルは、あいにくの雨で、初めて体育館で開催することになりました。委員の皆様にもご参加いただきましたが、綱引きや縄跳びは観客席からはよく見えて、室外でやる時よりも盛り上がっていたようにも思えましたが、どうしても観客席が少なく、地区ごとにまとまって見るのは難しかったり、召集に手間がかかったり、少なからず課題もあったようです。次年度は、この競技を盛り上げてくれたお笑い芸人を少し変えていくとのことで、新たな提案がありました。市民運動会からこの形のフェスティバルになってようやく定着してきた感があります。本年度は成田北高校の生徒さんたちが大勢参加してくれて盛り上げてくれました。次回も是非、大勢の参加を得て、楽しい競技になることを期待したいと思います。

○3月17日 聖徳大学附属成田幼稚園保育証書授与式について

聖徳大学附属成田幼稚園の卒園式に出席しました。42回目の卒園式だそうです。成田空港の歴史と共に歩んできた幼稚園です。聖徳大学からも何人もの先生方がお出でになり、園児に

はなむけの言葉をかけておりました。いつも思うのは、こちらの幼稚園の園長先生の「三つのH」。すなわち、「Head、Hand、Heart」。とっても説得力のあるお話で、園児たちがまっすぐ前を向いてしっかり聞いている様子には感心させられました。そして、最後には必ず、子どもの教育はまず家庭からと念を押すところがすごいと思いました。この日の卒園式は挨拶が多く、何と式が終了するまでに1時間半もかかりました。小学校の卒業式と同じくらいの時間です。立派なものだと思いました。小学校では、こうした子どもたちを預かるのだという責任を感じて、一人ひとりをしっかり見てほしいと思いました。

○3月22日 高齢者叙勲の伝達について

吾妻中学校長を最後に定年退職された大嶋六彦先生が、高齢者叙勲・瑞宝双光章を受章されることになり、ご自宅まで勲章の伝達に行ってまいりました。大嶋先生は、昭和25年に香取郡神崎中学校の技術家庭科の教諭として勤務され、その後、印旛地区の中学校で教鞭をとられ、印旛地方出張所の指導主事や指導室長もご経験された方で、私が若い頃は、指導室長として私の勤務校にもお出でになりご指導をいただいた記憶があります。現在、88歳。少し咳き込むこともあるようですが、お元気に対応してくださいました。市内上福田に住んでおられ、奥様もお元気そうでした。どうか今後もお元気でお過ごしくださいますよう、お祈りいたしたいと思います。

○3月23日 公益財団法人 印旛郡市文化財センター第101回理事会について

本日、午前中に印旛郡市文化財センターで開催されました。今回は、今年度事業計画の変更案及び補正予算案について、また、来年度の事業計画及び収支予算案について、審議してまいりました。以前にもお話しいたしましたが、印旛郡市文化財センターは、昨年あたりから状況が好転し、次年度からは職員も増やして対応しなければ仕事を消化しきれないほどになってまいりました。そのため、成田市からも派遣職員を1名増員してほしいとの要請を受けて、そのような対応をすることになりました。今後も、しばらくはこうした状況が続くようで、良いことだと思えます。

以上、報告とさせていただきます。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：成田小学校の卒業式について教育長からお話がありましたが、「仰げば尊し」と答辞

という、今ではあまり見られなくなった形の卒業式ということで、私も一度参列してみたいなと思いました。私は、成田中学校と加良部小学校の卒業式に参列しましたので、感想を述べさせていただきます。

成田中学校ですが、整然とした立派な卒業式だったと思います。また、大勢来られている来賓の名前を一人ずつ呼ばずに名簿での紹介ということにされたようで、よい進行だったと思いました。全校生徒での合唱も素晴らしかったです。

加良部小学校ですが、入学式に参列された教育長から、風船を利用したりといったビジュアルに訴える式辞で素晴らしかったと伺っていたので、卒業式での校長先生の式辞を楽しみにしておりましたが、校長先生は、式辞の際にパネルを使って子どもたちにわかりやすいお話をされていました。校長先生は、ご退職ということもあって、声を詰まらせる場面がありまして、私も感動してしまい、もらい泣きをしてしまいました。祝電についてですが、恩師等からの祝電は内容を読み上げて、それ以外の方からのものは名前のみ読み上げる形でしたが、その中には政治家や塾などからの祝電があって、折角の卒業式が興醒めになってしまう感じがしましたので、祝電を出さないといった配慮も必要なのではないかと思いました。

ふれあいる一む21の修了の会ですが、今年度も市長さんが参列してくださって、ありがたいと思いました。また、修了証書の授与の際に一人ずつ名前を呼ぶことは、素晴らしいことだと思いますので、卒業生の人数が少ない学校においても実践していただけたら、良い卒業式になるのではないかと思います。

小川委員：私は、公津の杜中学校と公津小学校の卒業式に出席しました。公津の杜中学校は、卒業生が200名で、市内でも一番多いということでした。大変落ち着いた卒業式で、答辞の時に、読んでいた生徒が、最後の方でアカペラで「仰げば尊し」を歌い始めまして、その後、合唱となり、最後に、お礼の言葉という形でした。こういった答辞もいいなと感動した次第です。

一方、公津小学校の卒業式ですが、こちらは小ぢんまりとした卒業式で、もう少し児童数が増えるとありがたいなと思いました。私は区長もしておりますが、静かな所で勉強等ができるといった良い環境にありますので、是非、公津小学校地区に転入される方が増えることを願っております。

また、ふれあいる一む21の修了の会にも出席しました。全員の進学が決まったということを聞きまして、安心しました。是非、これから新しい気持ちで、進学先でも

頑張れるといいなと思っています。ふれあいる一む21の修了者の前途を応援したい
と思います。

あと、これは意見になりますが、POPラン大会について、先程、教育長からもお
話がありましたが、表彰が慌ただしくて、あまりにも簡単に流れ作業で行われている
ので、ひと工夫して、表彰されている方たちが頑張った栄光に浸れる時間をつくって
あげられるようにしていただけたらと思います。

高木委員：13日に吾妻中学校の卒業式に出席しました。校舎が素晴らしく整備されていて、
トイレも広くて、物を置くスペースもあり、素晴らしい施設だと思いました。体育館
の音響もよく響いていました。欲を言えば、体育館への渡り廊下に屋根があるといい
なと思いました。子どもたちは、緊張していたとは思いますが、割と淡々とした卒業
式だったと感じました。

また、前林小学校の卒業式にも出席しましたが、卒業生が6名ということで、一人
ひとりの顔がよく見えました。在校生と比べると、とても大人びて見え、最上級生と
して頑張っていたのだなと思いました。会場の体育館ですが、装飾や壁に貼ってある
ものがとても整然としていて、先生方の配慮が感じられる環境でした。

また、ふれあいる一む21の修了の会ですが、修了された生徒さんが一人ずつ話を
され、みなさんそれぞれの考えを聞くことができました。進学先でも自分の居場所を
しっかり見つけることができるといいなと思いました。実は、私の子どもも、この春、
中学校を卒業しましたが、卒業アルバムを見ましたところ、在籍していた長期欠席の
お子さんに関しては、名前も写真も載っていませんでした。このお子さんには、中学
校生活の思い出は何もなかったのかなと考えますと、親の立場としては、すごく切な
いと思います。学校はどう対応されていたのだろうかと思うとともに、教育委員会か
ら各学校へ、常にきめ細かな働きかけをしていただきたいと思います。

議長：ただいま高木委員からお話がありましたことについて、学校に対して、より細やか
な指導をしていきたいと思います。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第5号及び議案第7号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項の規定により非公開により審議する。

<これより非公開>

議案第1号 「成田市教育委員会職員の人事異動について」

《審議結果》

承認

議案第2号 「成田市学校適応専門指導員の任命について」

高安教育指導課長：

議案第2号、成田市学校適応専門指導員の任命について、ご説明いたします。成田市学校適応専門指導員の設置に関する規則第3条の規定により、次のとおり飯田美紀さんを任命するものです。略歴につきましては、紙面のとおりでございますが、飯田美紀さんは平成25年より成田市学校適応専門指導員として勤務しております。任期につきましては、規則により1年と定められておりますので、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの任命となります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

議長：ただ今の提案に関して、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第2号「成田市学校適応専門指導員の任命について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は、挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第3号 「成田市英語指導助手の委嘱について」

高安教育指導課長：

議案第3号、成田市英語指導助手の委嘱について、ご説明いたします。教育指導課に在籍する主任ALTのうち、杉浦 テリー先生が学校現場での勤務を希望しておりますことから、ワシリエワ アレブティナ先生については引き続き、蜂屋 ライディア ショーン先生については新たに、英語指導助手として委嘱することをお諮りするものです。出身国につきましては、ワシリエワ アレブティナ先生がロシア、蜂屋 ライディア ショーン先生がアメリカです。任期につきましては、平成30年4月1日から平成31年3月31日、経歴及び職務につきましては紙面のとおりでございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

《議案第3号に対する質疑》

佐藤委員：英語指導助手という呼び名ですが、役職にふさわしくないように思います。むしろ、主任ALTといった方が、実際の役職を捉えているのではないかと思います。どこかのタイミングで名称を変えた方がいいように思います。

高安教育指導課長：関係各課とも協議しまして、検討してまいりたいと思います。

小川委員：新年度から、蜂屋 ライディア ショーン先生が務められるということですが、外国人英語講師として勤務されている方は他にもたくさんいる中で、この方を英語指導助手として選んだ理由は何ですか。

高安教育指導課長：英語を母国語とするネイティブスピーカーの方が好ましいということと、各学校に配置している外国人英語講師を指導していく力量がある方ということで、面接を実施した上で、蜂屋 ライディア ショーン先生を選びました。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第3号「成田市英語指導助手の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第4号 「成田市健康管理医の委嘱について」

高安教育指導課長：

議案第4号、成田市健康管理医の委嘱について、ご説明いたします。「健康管理医」は一般企業の産業医に当たるものとなりますが、成田市立学校職員安全衛生管理規程第7条第1項において、学校職員数50人以上の学校に健康管理医を置くこと定められており、平成30年度は、成田小学校、加良部小学校、吾妻小学校、公津の杜小学校、西中学校及び下総みどり学園に配置いたします。任期につきましては、平成30年4月1日から平成32年3月31日の2年間となっております。委嘱する医師につきましては、成田市医師会と学校長の推薦により選出しております。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

《議案第4号に対する質疑》

小川委員：大変多くの先生方がいる職場では、先生方の健康を考えていく上で、こういう制度は大事だと思います。健康管理医は、年間でどのくらいの回数、各学校を訪問するのですか。

高安教育指導課長：各学校について、年度内に2回、訪問していただいております。

議長：その他、何かございますか。

特にないようですので、議案第4号「成田市健康管理医の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第5号 「成田市社会教育指導員の任命について」

田中生涯学習課長：

議案第5号、成田市社会教育指導員の任命について、ご説明いたします。成田市社会教育指導員の任期が、平成30年3月31日で満了となりますので、「成田市社会教育指導員の設置等に関する規則」第3条第1項の規定により、任命しようとするものです。

資料の2ページをご覧ください。今回任命しようとする社会教育指導員は7名ですが、その

うち主に新任の方について、ご説明いたします。

まず、3人目までは生涯大学校に勤務していただく指導員で、うち、お二人は再任です。新任の青野 繁さんは、本年3月31日を以って香取市立瑞穂小学校教頭を退職される予定です。佐原市立佐原小学校をはじめとして、下総町立高岡小学校などに勤務されました。小学校教頭としての経験や社会教育主事の資格を活かしていただこうと考えております。

次に4人目、5人目のお二人は、生涯学習課で勤務していただく方で、家庭教育学級などを担当していただきます。阿部 智子さんは、平成29年度から生涯大学校で勤務されていますが、社会教育主事の資格と積極性を活かしていただき、生涯学習課で勤務いただこうと考えております。

3ページをお願いいたします。お二人とも教育支援センター内にある教育相談室に勤務していただく方で、再任の方です。

なお、下総歴史民俗資料館については、再任用の専門職と事務職員で運営するよう変更いたします関係で、社会教育指導員については、平成29年度より1名減となっております。

以上7名を、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの任期で、社会教育指導員として任命しようとするものでございます。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議 長：ただ今の提案に関し、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第5号「成田市社会教育指導員の任命について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<一旦、非公開を解く>

議案第6号 「成田市教育委員会事務決裁規程の一部改正について」

田中生涯学習課長：

議案第6号、成田市教育委員会事務決裁規程の一部改正について、ご説明いたします。本案は、公の施設の使用に係る許可の専決区分を課長専決事項に変更することで、当該施設窓口での迅速な対応及び市民サービスの向上を図る成田市事務決裁規程の一部改正に伴い、「成田市教

育委員会事務決裁規程」につきましても、同様の改正をするものです。

資料の2ページ、別表第1をご覧ください。右側の改正案ですが、部長専決事項8に「(公の施設の使用に係るものを除く。)」を追加し、課長専決事項9に「公の施設の使用許可」を追加して、それ以降の事項を繰り下げるものです。公の施設の使用許可を課長専決にすることにより、生涯大学校、生涯学習会館、美郷台地区会館の窓口でも担当職員が対応することが可能になります。よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

議長：ただ今の提案に関し、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第6号「成田市教育委員会事務決裁規程の一部改正について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<これより非公開>

議案第7号 「学校医（眼科）の委嘱について」

高安教育指導課長：

議案第7号、学校医（眼科）の委嘱について、ご説明いたします。学校医等の委嘱につきましては、平成30年2月の教育委員会会議においてご承認いただいたところですが、眼科医の先生がご逝去されましたことから、8校の学校医について、資料のとおり変更するものです。

なお、任期につきましては、変更ございません。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

議長：ただ今の提案に関し、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第7号「学校医（眼科）の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<非公開を解く>

(2) 報告事項

報告第1号 「平成29年度成田市学力調査の結果について」

高安教育指導課長：

報告第1号、平成29年度成田市学力調査の結果について、ご説明いたします。平成29年度の成田市学力調査の結果については、すでに教育委員会会議でご報告申し上げたところですが、今回は各学校に配付するリーフレットについてでございます。

1ページ目の平成29年度成田市学力調査の結果概要につきましては、青文字のものは全国平均よりも下回ったもので、網掛けの色のついたところは上回った数値となっております。

2ページ目からは、学年ごとに各教科の状況となっております、4ページ目からは教科ごとに各学年の状況となっております。棒グラフにあります白い四角は、全国平均値を表しております。

10ページ目からは、小学校1年生からそれぞれの教科の観点について、蜘蛛の巣グラフで全国平均と比較した表記となっております。一例を申し上げますと、小学校1年生の国語では、青い部分で示されたものが成田市の平均値で、赤線のもが全国平均となっております。

このリーフレットを各学校に配付するとともに、保護者会資料及び来年度の指導資料として活用されるようお願いしております。

《報告第1号に対する質疑》

佐藤委員：中学1年生の数学と理科で目標値をかなり下回っているようですが、これは、たまたま勉強していなかったところがテストに出たというようなことではなくて、指導法に問題があるのかなという感じがします。中学1年生の段階でこのような状況だと、2年生、3年生になったときに、ますますわからなくなってしまうのではないかと思います。

また、中学校の英語の「聞く」というところでは、全国平均と同程度という結果でしたが、成田市は小学校から英語をやっていることから、もっと良い結果が出るものと期待していました。「読む」や「書く」ということについては、また別の英語力

だと思いますが、「聞く」ことに関しては、成田市のこれまでの英語指導がもっと反映された結果になってもいいのかなと思いました。

高安教育指導課長：中学校1年生の理科につきましては、「エネルギー」のところが大きく落ちています。ですので、新年度、2年生になったときに、この「エネルギー」の分野でどのような結果となるか注視していきます。また、英語の「聞く」に関しましては、今後の課題として、年間指導計画等の中で検討していきたいと考えております。

小川委員：1ページを見ますと、先程、佐藤委員の方からも中学1年生の結果が全国平均より低いことの話がありましたが、過年度における結果を見てみると、2年前、小学5年生のときの結果では、社会以外の教科で全国平均を下回っています。1年前の小学6年生では、回復して全国平均を上回っていますが、小学校のときの成績が、中学生になったときの成績に影響していると考えられますので、途中で指導方法を変えるなど改善していくことが重要だと思います。今回の調査結果を、今後の見直しに、是非、役立てていただきたいと思います。

一方で、英語については、これまでずっと全国平均を上回っています。これは、やはり成田市の英語教育の成果だと思います。ですから、他の教科についても、力を入れれば、成果を上げられると思いますので、もう少し頑張ってくださいと思います。

高木委員：英語についてですが、吾妻中学校の卒業式に出席したとき、英検の準2級や3級を取得されている卒業生がとても多いことを伺いました。大学受験等の際には、英検の取得が有利になることもあります。受験料の助成があると英検を受験する生徒も増えますし、英検の取得が促進されると思いますので、市の方でそういった環境を整えていただけるとありがたいなと思いました。

議長：ただいま、委員さんからいくつかご指摘がありましたことを、今後に役立てていただきたいと思います。

6. 教育長閉会宣言